

5 環境負荷及びその低減に向けた取組の状況

環境影響の全体像（マテリアルバランス）

平成22年度にて

● 総エネルギー投入量：583,442GJ ➡ P.34

電気	441,128GJ (45,199MWh)
ガス	104,286GJ (2,261km ³)
重油	37,771GJ (966kl)
灯油	257GJ (7kl)

● 温室効果ガス等： ➡ P.36

CO ₂ 排出量	24,472t
電気	16,678t
ガス	5,159t
重油	2,618t
灯油	17t

上記数値は新たな換算係数による数値

● 総物質投入量 ➡ P.35

コピー用紙使用量：143,650kg

化学物質：PRTR対象物質（調査対象10物質）
取扱量 9,556kg

その他：（数値なし）
有機溶媒、化学薬品、教育研究・医療用機材 等

● 化学物質排出量・移動量 ➡ P.37

PRTR対象物質排出量・移動量

クロロホルム	4.9kg (大気排出)
	1,900kg (事業所外移動)
ノルマル-ヘキサン	75kg (大気排出)
	610kg (事業所外移動)

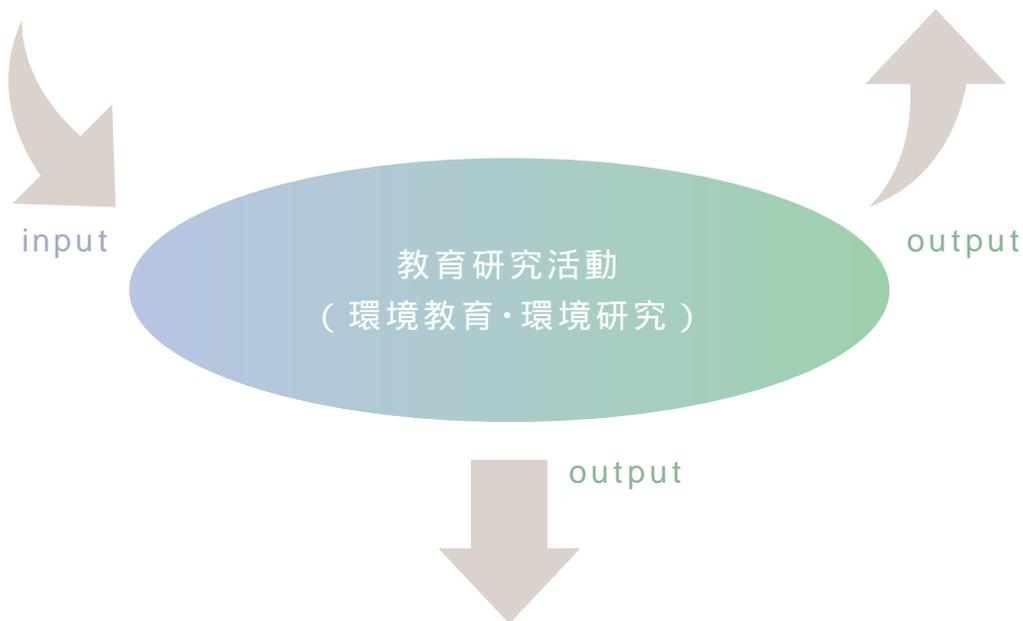
● 水資源投入量：368,743m³ ➡ P.35

市水	34,253m ³
井水	334,490m ³

● 廃棄物等総排出量：（一部記載） ➡ P.39

● 廃棄物最終処分量：（一部記載）

● 総排水量：368,743m³



● 大学の活動の成果・社会貢献

学部卒業生 (1,616名)	共同研究受入件数 (145件)
大学院修了者 (469名)	受託研究受入件数 (171件)
修士 (352名)	特許出願件数 (41件)
博士 (117名)	実施許諾件数 (35件) 等

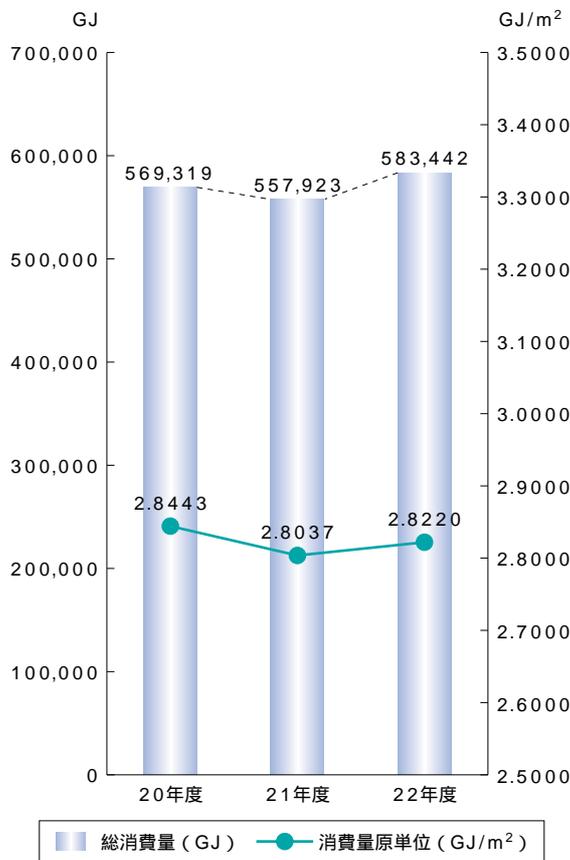
環境負荷の状況

総エネルギー投入量

①総エネルギー投入量 (GJ)

平成22年度のエネルギー投入量は前年度より約4.6%増加しました。要因として、21年度に耐震改修工事を実施し、22年度に運用再開した建物によるエネルギーの増加、病院本館改修工事で1工区完成に伴い移転時のエネルギー増加、データセンター・先端計算研究センターの本格稼働及び気候変動によるエネルギーの増加における影響で25,519GJ増加しました。

総エネルギー投入量の推移



単位 (GJ) について
熱量換算係数は、以下の通り

電気	1 MWh	9.97GJ
ガス・都市ガス (13A)	1 km ³	46.1GJ
ガス・プロパンガス	1 km ³	100.46GJ
重油	1 kℓ	39.1GJ
灯油	1 kℓ	36.7GJ

(エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則
最終改正：平成18年9月19日経済産業省令第88号に基づき算出)

②単位面積当たりのエネルギー消費量 (GJ/m²)

単位面積当たりのエネルギーの消費量は、対前年比で0.65%増加しました。

③投入エネルギーの内訳

投入エネルギーの内訳

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
電 気・ガ ス・重 油・灯 油 使 用 量	電 気 (MWh)	43,173	42,733	45,199	
	ガ ス (km ³)	13A	1,758	1,729	2,260
		プロパン	1	1	1
	重 油 (kℓ)	1,663	1,546	966	
	灯 油 (kℓ)	11	14	7	
電 気・ガ ス・重 油・灯 油 使 用 量 (GJ)	電 気	421,503	417,153	441,128	
	ガ ス	13A	82,289	79,707	104,186
		プロパン	100	100	100
		計	82,389	79,807	104,286
	重 油	65,023	60,449	37,771	
	灯 油	404	514	257	
合 計	569,319	557,923	583,442		
空調面積当り エネルギー消費量 (対前年度比) (GJ/m ²)	2,8443 (102.11%)	2,8037 (98.57%)	2,8220 (100.65%)		
原油換算 (kℓ)	14,690	14,396	15,052		
(参考)空調面積 (m ²)	200,158	198,996	206,750		
新規稼働棟 (m ²)	文教2改修 工事 (工学部、 教育学部) 坂本2新嘗 工事 (新病棟・ 診療棟) 坂本2改修 工事 (病院本館 I期)	文教2改修 工事 (環境科学 部、学生会 館) 坂本2改修 工事 (病院本館 I期) 片淵改修工 事 (経済学部 本館)	坂本2改修 工事 (病院本館 I期)		

データの値は9団地(片淵・坂本1・坂本2・文教町1・文教町2・柳谷町・島原・多良良町・時津町)とする。

電気

平成22年度の電気使用量は前年度より約5.7%増加しています。要因として、21年度に耐震改修工事を実施し、22年度に運用再開した建物による電力の増加、病院本館改修工事で1工区完成に伴い移転時の電力の増加、データセンター・先端計算研究センターの本格稼働及び気候における影響が考えられます。

ガス

都市ガスの使用量は、年々増加しています。22年度の増加の要因としては、坂本2団地のボイラー設備の改修工事で重油と都市ガスの併用型に更新し、都市ガスで運転したために使用量が増加したと考えられます。

また、GHP式空調機への更新による増加も考えられます。

重油

重油の使用量は、年々減少しています。22年度の減少の要因としては、坂本2団地のボイラー設備の改修工事で重油と都市ガスの併用型に更新し、都市ガスで運転したために使用量が減少したと考えられます。

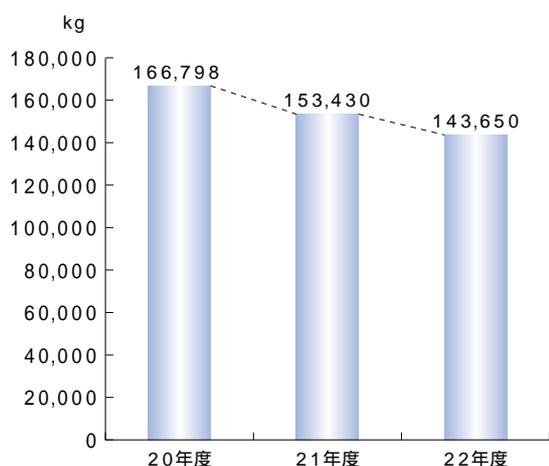
総物質投入量

コピー用紙

使用量については、年々減少しています。要因としてペーパーレス化の浸透による用紙の軽減が考えられます。

なお、今後も各種書類等のペーパーレス化、両面コピー等の省力化を行い、使用量の低減を図る予定です。

コピー用紙使用量の推移

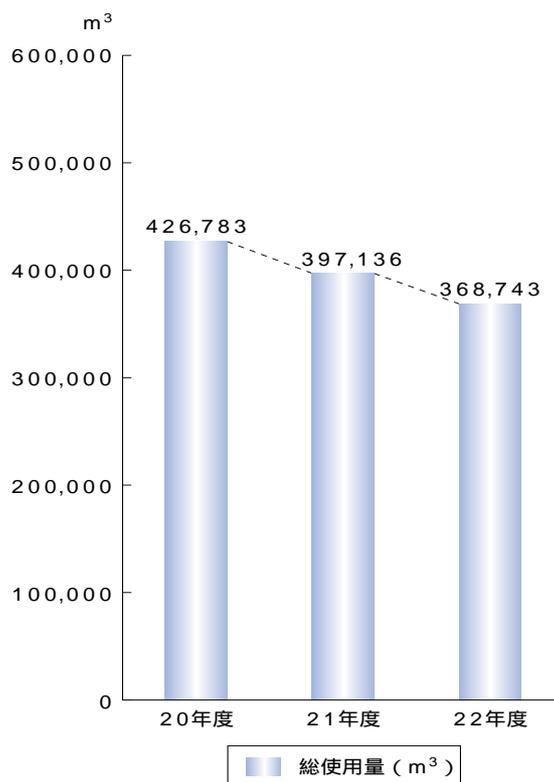


水資源投入量

水

使用量は減少しています。要因として建物改修工事でトイレなどに節水用水栓の導入や、省エネ対策の啓発による節水への取組などが結果に表れていると思われます。

水資源投入量の推移



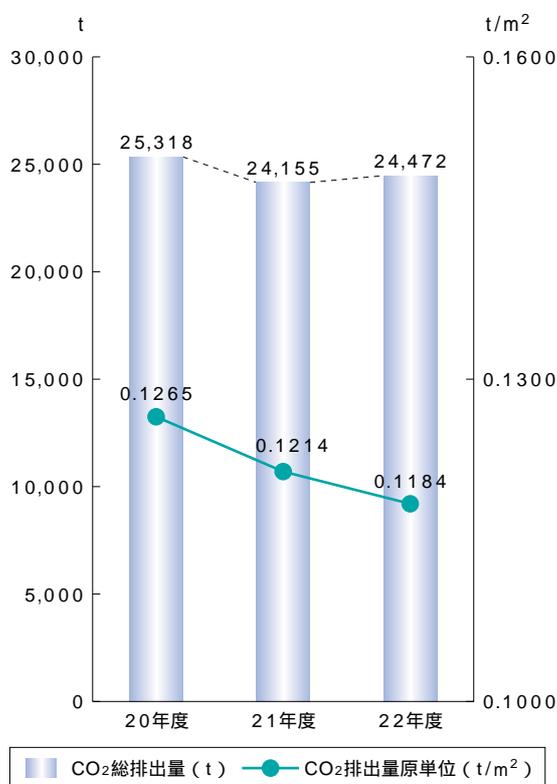
水源の内訳の推移

年度 項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	市水	25,584	30,275
井水	401,199	366,861	334,490
合計	426,783	397,136	368,743

CO₂排出量

平成22年度のCO₂排出量は、総量では、1.3%増加しましたが、単位面積当たりでは、前年度より約2.5%減少となりました。要因として坂本2団地のボイラー設備の改修工事で重油と都市ガスの併用型に更新し、都市ガスで運転したためにCO₂排出量が減少したと考えられます。また、九州電力のCO₂排出係数が、大幅に改善したのも大きな要因ですが、本学として、更に一層のCO₂排出量総量の削減に取り組む必要があると考えています。

CO₂排出量の推移



単位について

CO₂排出量換算係数は、以下の通り

項目	単位	従来CO ₂ 排出係数	新CO ₂ 排出係数 (九州電力公表値)		
			H20	H21	H22
電気	1 kWh	0.555kg	0.387	0.374	0.369
ガス・都市ガス(13A)	1 m ³	2.28kg			
ガス・プロパンガス	1 m ³	5.93kg			
重油	1 ℓ	2.71kg			
灯油	1 ℓ	2.49kg			

(地球温暖化対策の推進に関する法律施行令
最終改正：平成18年12月22日政令第397号に基づき算出)

CO₂排出量内訳の推移

年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
CO ₂ 排出量 (t)	電気	16,708	15,982	16,678	
	ガス	13A	4,070	3,942	5,153
		プロパン	6	6	6
		計	4,076	4,190	5,159
	重油	4,507	4,190	2,618	
	灯油	27	35	17	
	合計	25,318	24,155	24,472	
空調面積当りCO ₂ 排出量 (対前年度比) (t/m ²)		0.1265 (100.56%)	0.1214 (95.97%)	0.1184 (97.53%)	
(参考)空調面積 (m ²)		200,158	198,996	206,750	

化学物質の排出量・移動量

長崎大学坂本キャンパス1、2および文教キャンパスは、PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）対象事業所に該当します。そのため、産学官連携戦略本部 共同研究支援部門環境安全支援室では、各キャンパスごとにPRTR法第1種指定化学物質取扱量を調査・集計し、一定量以上のものについては、環境中への排出量および廃棄物等としての移動量として報告しています。取扱量の調査では、平成14年度から開始しており、過去の集計結果はすべて環境安全支援室のホームページで公表しています（<http://www.ep.nagasaki-u.ac.jp/prtr/prtr.htm>）。平成22年度の調査では、取扱量が1トンを超えた物質は、文教キャンパスのクロロホルムおよびヘキサ（新規対象物質）となりました。

なお、平成22年度から指定化学物質の増加により政令番号が変更されております。

PRTRとは

（Pollutant Release and Transfer Register：化学物質排出移動量届出制度）とは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組みです。

対象としてリストアップされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、環境中に排出した量と、廃棄物や下水として事業所の外へ移動させた量とを自ら把握し、行政機関に年に1回届け出ます。

- 環境省ホームページより -

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/about/about-1.html>

平成22年度 - PRTR法第1種指定化学物質取扱量（抜粋）（単位：g）

小数点以下は四捨五入で表示

政令番号	指定化学物質名	坂本キャンパス1（基礎地区）				坂本キャンパス2（病院地区）				文教キャンパス						合計			
		合計	医学部（基礎）	加齢生体研究センター	熱帯医学研究所	計	医学部（保健）	病院	歯学部	計	工学部	薬学部	教育学部	環境科学部	水産学部		共同研究交流センター		
13	アセトニトリル	10,008	30	5,000	4,978	21,926	50	0	0	9,446	12,430	210,651	18,532	161,883	320	24,800	5,116	0	242,585
71	塩化第二鉄	11	11	0	0	480	0	0	480	0	0	40,423	0	101	2	0	500	39,820	40,914
80	キシレン	176,778	168,025	2,052	6,701	497,153	72,487	1,910	386,500	36,256	11,601	10	4,190	0	242	7,159	0	0	685,532
127	クロロホルム	19,859	17,294	145	2,420	366,998	315	0	356,929	9,754	1,763,022	42,867	1,715,917	0	1,302	2,295	642	2,149,879	
186	ジクロロメタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	992,566	660,997	286,771	360	30,000	6,375	8,063	992,566
213	N,N-ジメチルアセトアミド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,682	42,682	0	0	0	0	0	42,682
300	トルエン	550	507	0	43	1,429	1,386	0	0	43	198,294	146,651	51,631	0	12	0	0	0	200,273
392	ノルマル-ヘキサ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,883,620	261,659	4,551,180	2,050	33,000	131	35,600	4,883,620	
400	ベンゼン	154,300	154,000	0	300	6,198	5,318	0	880	0	35,895	700	31,700	2,550	0	946	0	0	196,393
411	ホルムアルデヒド	128,625	123,459	2,402	2,765	339,829	32,500	324	303,219	3,786	52,640	1,254	1,558	0	11	49,818	0	0	521,095

計 9,955,539 g

平成21年度 - PRTR 法第 1 種指定化学物質取扱量 (単位: g)

小数点以下は四捨五入で表示

政令 番号	指定化学物質名	坂本キャンパス 1 (基礎地区)						坂本キャンパス 2 (病院地区)						文教キャンパス						合計									
		医学部 (基礎)		先端生命科学 研究センター		熱帯医学 研究所		医学部 (臨床)		病院		歯学部		計		工学部		薬学部			教育学部		環境科学部		水産学部		共同研究 流センター		
		合計	医学部 (基礎)	先端生命科学 研究センター	熱帯医学 研究所	医学部 (臨床)	病院	歯学部	計	工学部	薬学部	教育学部	環境科学部	水産学部	共同研究 流センター	合計	工学部	薬学部	教育学部		環境科学部	水産学部	共同研究 流センター						
2	アクリルアミド	6,663	5,453	150	1,060	4,420	1,395	60	2,965	5,351	0	5,091	0	260	0	16,434													
12	アセトニトリル	9,302	3,911	5,000	3,911	8,080	1,572	6,288	220	185,855	8,376	135,915	1,336	14,290	0	203,237													
47	エチレンジアミン四酢酸	771	475	0	296	12,461	1,811	0	10,650	996	135	647	0	7	0	14,228													
63	キシレン	235,841	233,841	2,000	0	898,626	48,566	806,000	44,060	7,431	0	3,002	0	4,429	0	1,141,898													
95	クロロホルム	14,356	11,866	126	2,364	617,299	1,002	588,384	27,913	1,923,781	138,760	1,781,950	0	472	1,167	2,555,436													
145	ジクロロメタン	4,000	4,000	0	0	0	0	0	0	1,320,768	903,289	267,583	665	120,110	28,987	1,324,768													
227	トルエン	52	52	0	0	1,438	1,351	0	87	150,834	58,394	76,382	43	15	16,000	152,324													
266	フェノール	7,634	6,736	300	598	10,409	5,704	280	4,425	2,328	944	774	0	0	20,371														
299	ベンゼン	61,520	61,520	0	0	5,450	5,450	0	0	40,471	15,330	3,970	21,039	0	107,441														
310	ホルムアルデヒド	197,951	197,384	5	562	53,480	4,734	44,146	4,600	25,884	498	2,060	0	40	277,315														
		計																										5,813,452 g	

平成20年度 - PRTR 法第 1 種指定化学物質取扱量 (単位: g)

小数点以下は四捨五入で表示

政令 番号	指定化学物質名	坂本キャンパス 1 (基礎地区)						坂本キャンパス 2 (病院地区)						文教キャンパス						合計								
		医学部 (基礎)		先端生命科学 研究センター		熱帯医学 研究所		医学部 (臨床)		附属病院		歯学部		計		工学部		薬学部			教育学部		環境科学部		水産学部		共同研究 流センター	
		合計	医学部 (基礎)	先端生命科学 研究センター	熱帯医学 研究所	医学部 (臨床)	附属病院	歯学部	計	工学部	薬学部	教育学部	環境科学部	水産学部	共同研究 流センター	合計	工学部	薬学部	教育学部		環境科学部	水産学部	共同研究 流センター					
2	アクリルアミド	3,731	2,876	150	705	1,745	525	0	1,220	6,498	1,033	4,475	0	310	680	11,974												
12	アセトニトリル	7,934	183	5,000	2,751	254	0	18	236	522,877	9,741	489,944	1,113	14,148	7,931	531,065												
47	エチレンジアミン四酢酸	404	329	0	75	9,680	0	0	9,680	931	35	484	0	22	390	11,015												
63	キシレン	202,278	195,047	3,000	4,231	183,156	63,740	77,176	42,240	7,984	0	1,716	0	545	5,723	393,418												
95	クロロホルム	26,452	22,479	923	3,050	344,619	23,588	286,083	34,948	1,248,882	98,006	1,146,960	0	1,894	520	1,619,953												
145	ジクロロメタン	7,800	7,800	0	0	0	0	0	0	996,828	725,851	201,994	319	54,617	1,004,628													
227	トルエン	2,598	2,598	0	0	28,667	28,580	0	87	157,978	79,767	75,772	1,430	9	189,243													
266	フェノール	11,039	9,526	548	965	4,617	330	137	4,150	2,420	635	948	0	157	18,076													
299	ベンゼン	61,530	61,530	0	0	2,876	2,832	0	44	10,338	1,650	5,033	402	9	74,744													
310	ホルムアルデヒド	129,572	123,713	1	5,858	710,003	27,671	678,188	4,144	41,672	338	2,569	0	154	881,247													
		計																										4,735,363 g

取扱量が1トンを超えた文教キャンパスのクロロホルム、ヘキサンおよび特別要件に該当するダイオキシン類については、排出量および移動量を調査し、その結果を長崎県に報告しました。クロロホルムの排出・移動量は、平成21年度から約35%、平成20年度から約70%と大幅に増加しており、調査を開始した平成14年度以降で最多となりました。ヘキサンについては、実験廃液処理施設での処理により、排出・移動量が削減されています。PRTRでは、人や生態系に有害な恐れがある化学物質を調査対象としています。クロロホルム等をはじめとするこれらの化学物質の取扱量削減への取り組みは、環境リスクの低減に向けた今後の検討課題といえます。

平成22年度 第一種指定化学物質の排出量及び移動量

		第一種指定化学物質の名称		
		クロロホルム (kg)	ルナル・ヘキサ (kg)	ダイオキシン (mg-TEQ)
排出量	大気への排出	4.9	75	0.015
	公共用水域への排水	0.0	0.0	0.0
	当該事業所における 土壌への排出	0.0	0.0	0.0
	当該事業所における 埋立処分	0.0	0.0	0.0
移動量	下水道への移動	0.0	0.0	0.0
	当該事業所の外への 移動	1,900	610	0.10

平成21年度 第一種指定化学物質の排出量及び移動量

		第一種指定化学物質の名称		
		クロロホルム (kg)	ジクロロメタン (kg)	ダイオキシン (mg-TEQ)
排出量	大気への排出	18	280	0.0099
	公共用水域への排水	0.0	0.0	0.0
	当該事業所における 土壌への排出	0.0	0.0	0.0
	当該事業所における土 壌への排出埋立処分	0.0	0.0	0.0
移動量	下水道への移動	0.1	0.0	0.0
	当該事業所の外への 移動	1400	580	0.036

平成20年度 第一種指定化学物質の排出量及び移動量

		第一種指定化学物質の名称	
		クロロホルム (kg)	ダイオキシン (mg-TEQ)
排出量	大気への排出	15	0.0048
	公共用水域への排水	0.0	0.0
	当該事業所における 土壌への排出	0.0	0.0
	当該事業所における 埋立処分	0.0	0.0
移動量	下水道への移動	0.0	0.0
	当該事業所の外への 移動	1,100	0.0

廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量

ごみの減量化、リサイクル推進のため、以下の廃棄物区分のもとに収集を行っています。

- 一般廃棄物（事業系ごみ）
 - ・可燃ゴミ（紙、木、繊維等）
 - ・不燃ゴミ（プラスチック・金属等）
 - ・再資源ゴミ
 - （新聞紙、上質紙等）
 - （アルミ缶、ペットボトル）
- 特別管理一般廃棄物
 - ・感染性一般廃棄物
- 産業廃棄物
 - ・廃プラスチック・ゴム類
 - ・ガラス類（250ml未満の試薬瓶）
 - ・250ml以上の割れていないガラス製試薬瓶
 - ・金属類
- 特別管理産業廃棄物
 - ・感染性産業廃棄物
 - ・薬品等
 - （廃油・有機系実験系廃液・無機系実験系廃液については、学内で定期的に分別収集し、廃液処理施設において処理されています。）

平成22年度

区分	種別	重量(t)
一般廃棄物	可燃ゴミ	535
	不燃ゴミ	68
	資源ゴミ	79
産業廃棄物	非感染性ゴミ	147
	感染性ゴミ	187

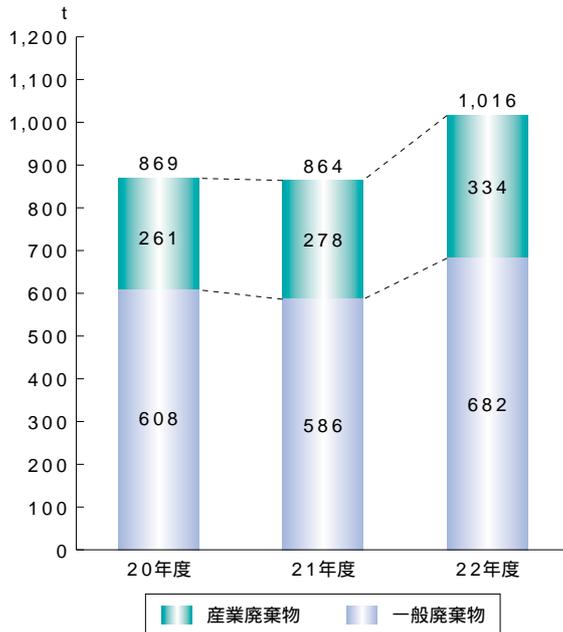
平成21年度

区分	種別	重量(t)
一般廃棄物	可燃ゴミ	445
	不燃ゴミ	81
	資源ゴミ	60
産業廃棄物	非感染性ゴミ	112
	感染性ゴミ	166

平成20年度

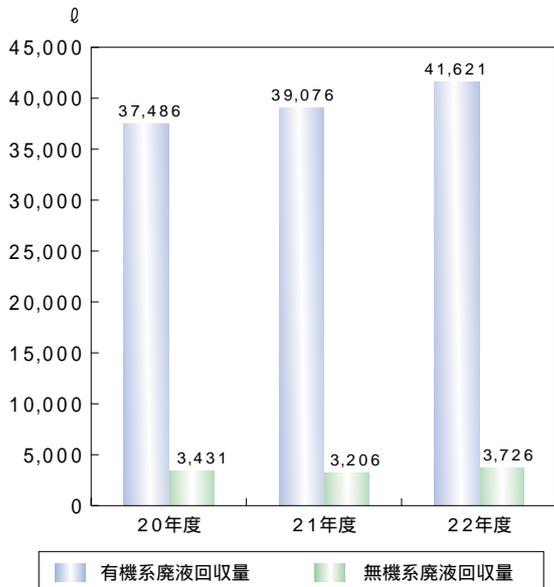
区分	種別	重量(t)
一般廃棄物	可燃ゴミ	465
	不燃ゴミ	86
	資源ゴミ	57
産業廃棄物	非感染性ゴミ	104
	感染性ゴミ	157

廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量



ここでは、外部の業者に処理委託を行っているキャンパス2箇所（文教・坂本）における一般廃棄物、非感染性産業廃棄物（プラスチック、ガラス、陶磁器）及び感染性産業廃棄物の排出実績について集計しています。

実験系廃液回収量



実験廃液回収量の9割以上を占める有機系廃液回収量は、3年連続して増加しており、平成22年度は初めて4万リットルを超え、過去最多となりました。今後も引き続き、薬品の効率的な使用等による実験廃液削減の努力が求められます。

輸送に係る環境負荷の状況

水産学部練習船（長崎丸、鶴洋丸）について、燃料使用量を以下に記載します。

単位：ℓ

年度	20年度	21年度	22年度
重油	455,116	535,227	545,498
軽油	192,571	184,105	167,888

環境負荷の低減に向けた取組の状況

...省エネルギーのための取組...

○冷蔵庫更新プロジェクト

平成20年度に実施した冷蔵庫等の調査で一般冷凍冷蔵庫430台、実験用冷凍庫557台、製氷機33台が学内で使用されている実態を把握した。

そこで、平成22年度において、一般冷凍冷蔵庫の規格が150ℓ～400ℓ以下で平成12年以前に製造された製品について、再度調査して合計128台を更新した。

現在、製造している一般冷凍冷蔵庫は、平成12年以前のものに比べて消費電力が50%となっている。



更新後の冷蔵庫

○複写機等更新プロジェクト

大学内で使用している事務用の複写機、FAX、プリンターについてそれぞれ使用してきたが、これらを1台の複合複写機156台に更新した。これにより、大幅な省エネが図れると共に省スペースさらに事務経費の削減が可能となった。



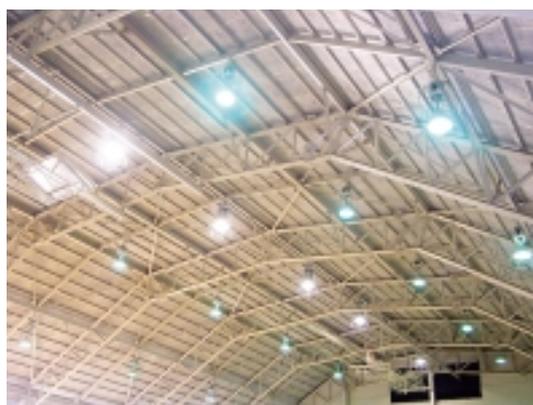
更新後の複合複写機

○体育館等照明設備更新プロジェクト

平成22年度学内営繕費で総合体育館、中部講堂、片淵体育館、坂本1体育館の水銀灯照明器具を高効率照明器具に更新した。これにより15kℓの削減効果が期待できる。



中部講堂照明改修



体育館照明改修

○学内省エネセミナー

平成23年3月に学内の省エネルギー推進員と教職員及び学生を対象に文教町団地、坂本団地及び片淵団地会場で平成22年度のエネルギー分析をもとに省エネルギーセミナーを開催し、3会場で約70名が受講した。

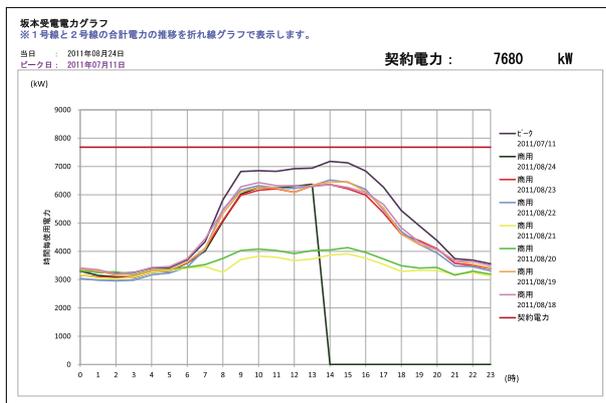


○電力速報システム

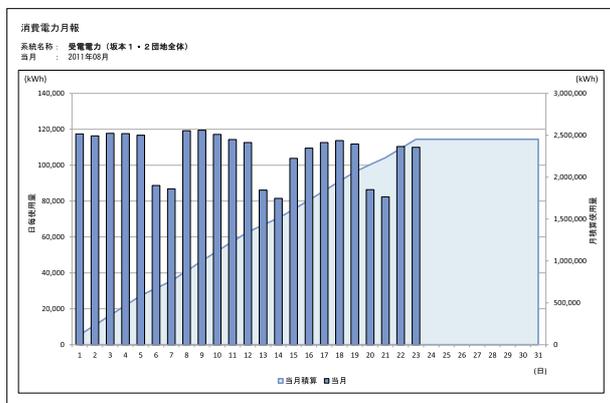
本学において坂本団地と文教町2団地で消費するエネルギーは、全体の約97%である。これらの団地の電力使用量を時間毎、毎月、年毎にグラフ化して、学内の教職員が学内インターネット上で確認出来るように自動システム化を実施した。



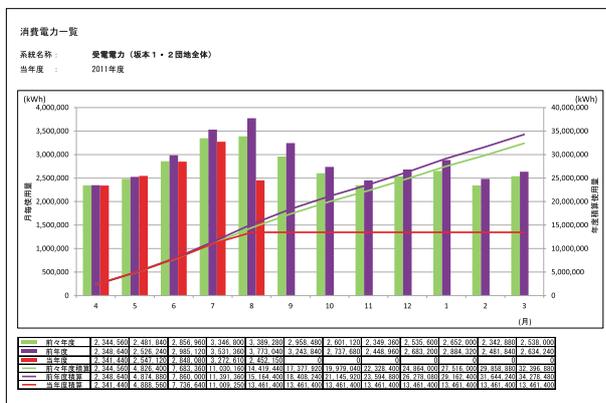
坂本メイン画面



坂本団地日報



坂本団地月報



坂本団地年報

メイン画面から、各建物の日報、月報、年報を閲覧できる。(学内のみ)

グリーン購入・調達状況

循環型社会の形成のためには、「再生品等の供給面の取組」に加え、「需要面からの取組が重要である」という観点から、平成12年5月に循環型社会形成推進基本法の個別法のひとつとして「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」が制定されました。

同法は、国等の公的機関が率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会を構築を推進することを目指しています。また、国等の各機関の取組に関するもののほか、地方公共団体、事業者及び国民の責務などについても定めています。（グリーン購入ネットワークホームページより引用）

グリーン購入・調達の事例

- ・古紙や合法性の確認がとれた木材（森林認証材等）を使用した紙、再生材使用や詰替型等の事務用品、省エネ性能の高い事務機器、再生材を使用した原材料等

平成22年度特定調達品目調達実績

分野	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 = ③ / ②	⑤目標達成率 = ④ / ①
紙類（7）					
コピー用紙	100%	143,650kg	143,650kg	100%	100%
フォーム用紙他	100%	16,629kg	16,629kg	100%	100%
文具類（82）					
シャープペンシル他	100%	23,611本	23,611本	100%	100%
シャープペンシル替芯他	100%	224,825個	224,825個	100%	100%
ファイル他	100%	71,764冊	71,764冊	100%	100%
事務用封筒（紙製）	100%	376,818枚	376,818枚	100%	100%
オフィス家具等（10）	100%	5,785台	5,785台	100%	100%
OA機器（18）					
コピー機等					
購入	100%	2,703台	2,703台	100%	100%
リース・レンタル（新規）	100%	1,923台	1,923台	100%	100%
リース・レンタル（継続）	100%	3,049台	3,049台	100%	100%
記録用メディア・カートリッジ等	100%	47,797個	47,797個	100%	100%
携帯電話（2）	100%	156台	156台	100%	100%
家電製品（5）	100%	245台	245台	100%	100%
エアコン等（3）	100%	87台	87台	100%	100%
温水器等（4）	100%	8台	8台	100%	100%
照明（5）					
蛍光灯照明器具	100%	5,712台	5,712台	100%	100%
蛍光ランプ	100%	4,181本	4,181本	100%	100%
電球形状のランプ	100%	146個	146個	100%	100%
自動車等（5）					
一般公用車用タイヤ	100%	9本	9本	100%	100%
消火器（1）	100%	217本	217本	100%	100%
制服・作業服（3）	100%	5,382着	5,382着	100%	100%
インテリア・寝装寝具（10）	100%	509枚	509枚	100%	100%
作業手袋（1）	100%	1,186組	1,186組	100%	100%
その他繊維製品（7）	100%	806枚	806枚	100%	100%